

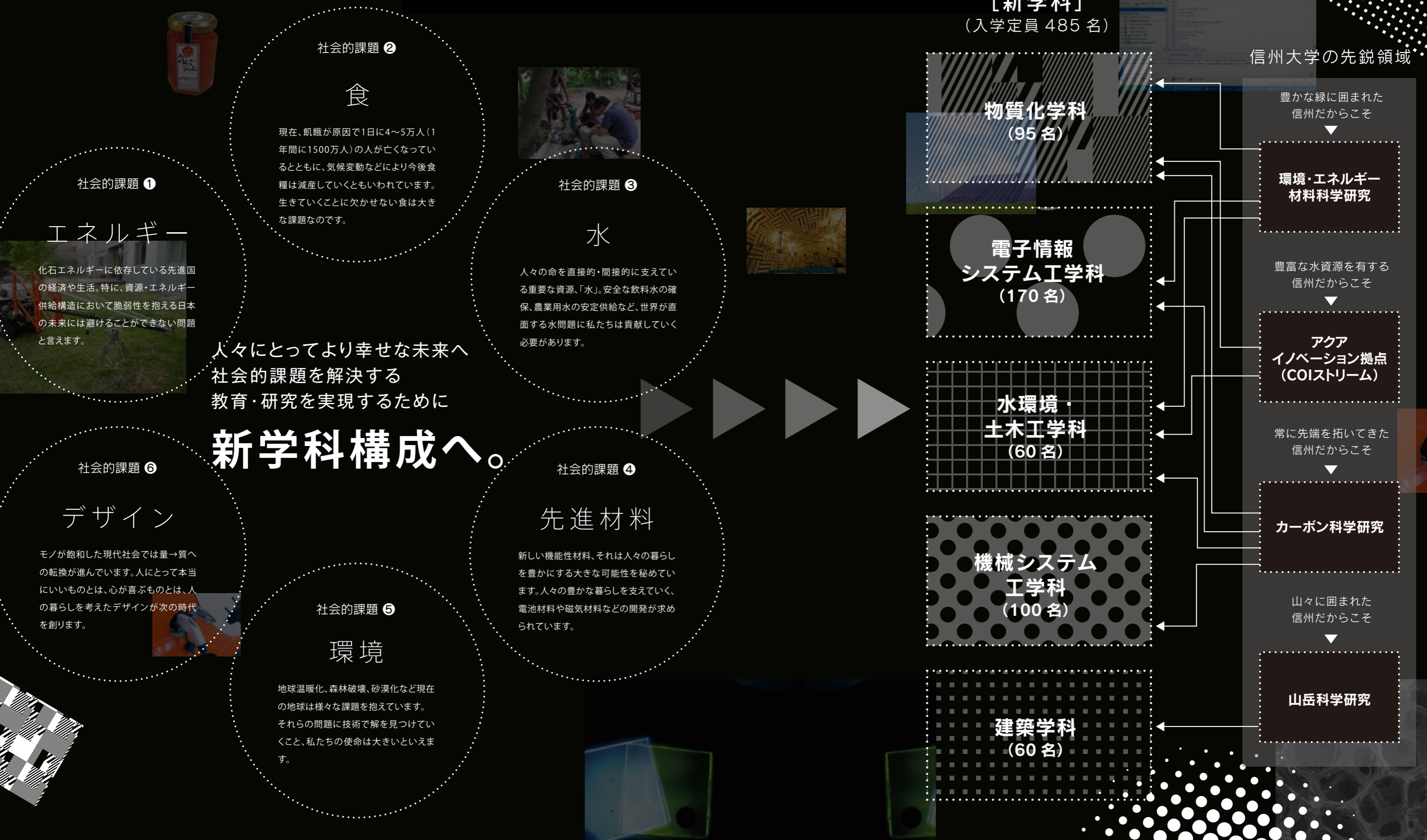
新しい
工学部、
はじまる。

RENEW!

「新・工学の先駆者へ」 独自の進化を遂げていく。

新しい学科展開、それは、社会的課題を解決する
未来人材の育成を目指した展開。

「新・工学の先駆者へ」、信州だからこそ実現できる
先鋭領域と繋がった他にはない学びが広がっています。



※取得を目指す免許・資格欄のうち、教職免許・学芸員は、課程認定申請中のため変更する場合があります。

世界を創る化学を。

物質化学科

- 先進材料工学プログラム
- 分子工学プログラム
- バイオ・プロセス工学プログラム

【卒業後の進路】

化学・医療・電機・精密機械・自動車・食品・金属・鉄鋼などの各分野のエンジニアとして活躍する他、公務員として社会に貢献します。大学院へ進学する学生も数多く存在します。

【取得を目指す免許・資格】

- 中学校教諭一種免許(理科)
- 高校教諭一種免許(理科、工業)
- 学芸員
- 技術士(受験資格:要実務経験)
- 毒物劇物取扱責任者
- 甲種危険物取扱者(受験資格)

【学科の先生が語る“何が新しいか”】

物質工学と環境機能工学が高度に融合

物質工学と環境機能工学が高度に融合し、新たに誕生した物質化学科だからこそ、環境やエネルギー問題などに「化学のチカラ」で最先端のソリューションを提供できます。資源の乏しい我が国の未来のために、原子、分子を自在に操り、構造をデザインすることで、身近に存在する資源から新しい材料やデバイスの創成に挑んでいます。

【学科の先生が語る“何が面白い”】

信州発の物質・材料が誕生する日も遠くはない

環境・エネルギー問題などを本質的に解決するためには、現在活用されている物質・材料の既成概念を大きく変革していく必要があります。当学科には、物質・材料の創成から活用まで、独自性の高い研究とそれを担う教員が集まっています。独自性と幅広さを兼ね備え、新次元の物質・材料を創成できる地盤が整った当学科から、信州発の物質・材料が生まれる日もそう遠くはないと思います。



物質化学科 教授
手鳴 勝弥
Katsuya Teshima



未来の情報社会を、その手で。

エネルギーと、ネットワークと、コンピューティング

電子情報システム工学科

- 電気電子プログラム
- 通信システムプログラム
- 情報システムプログラム

電子情報システム工学科 教授

香山 瑞恵
Mizue Kayama



【卒業後の進路】

ITインフラ、ITサービス、通信ネットワーク、クラウドなどとともに、自動車、家電、金融、運輸などの各産業界のエンジニアとして活躍する他、電気主任技術者として技術開発を担う道もあります。

【取得を目指す免許・資格】

- 中学校教諭一種免許(数学)
- 原級教諭一種免許(数学、情報、工業)
- 学芸員
- 技術士(受験資格:要実務経験)
- 第一級陸上特種無線技士、第三級海上特殊無線技士
- 第一種、第二種、三種電気主任技術者(実務経験が必要)
- 第二種電気工事士(筆記試験免除)

【学科の先生が語る“何が新しいか”】

3つのキーワードから未来人材を育成

「エネルギー」、「ネットワーク」、「コンピューティング」が当学科のキーワードです。安定した電気エネルギーや電力の供給、それに支えられる電気電子機器や情報機器の連携、そしてそれを制御する技術を3つのキーワードから学んでいきます。エネルギーを生み出すヒトへ、次世代のネットワークを提案し、新しいサービスを創造するヒトへ、ここから次の一歩を踏み出しませんか？

【学科の先生が語る“何が面白い”】

多彩な知識を養える全方位型教育プログラム

3つのキーワードをもとに展開される当学科の開発対象となるのは、再生可能エネルギー、セキユアで快適な情報通信網、革新的な情報サービスなどです。当学科で学ぶことで、例えば、省資源化を徹底した環境配慮型都市であるスマートシティを実現し支えるあらゆる知識と技術を修得することができます。多彩な知識と技術、ここでしか養えないチカラを基盤に、未来の情報化社会を、その手で実現してみませんか。

72億人の明日の生活を守る。

水環境・土木工学科

- 水環境プログラム
- 土木プログラム

【卒業後の進路】

インフラ整備、防災・減災技術、環境保全、まちづくり、海外支援などを担うエンジニアとして活躍するとともに、公務員として、社会基盤整備に取り組み等の道があります。

【取得を目指す免許・資格】

- 中学校教諭一種免許(理科)
- 高校教諭一種免許(理科、工業)
- 学芸員
- 技術士(受験資格:要実務経験)
- 測量士補
- 一般土木施工管理技士(実務3年以上:受験資格)
- ピオトップ管理士(2級筆記試験の一部免除の受験資格)

【学科の先生が語る“何が新しいか”】

世界の3大課題の一つにも取り組む

世界の3大課題の一つと言われる「水」の問題にも取り組み、土木と水の観点から未来を設計できる技術者の育成を教育プログラムとして展開します。新しい取り組みとして、「膜技術(カーボンナノチューブ)」「水処理技術」「水資源・水環境科学」など、水危機を救う挑戦的技術の展開を水資源の教育・研究に取り入れるとともに、国際アクア・イノベーションセンターとの関連研究も始めています。

【学科の先生が語る“何が面白い”】

スタッフの専門が多分野にわたっている

当学科を構成するスタッフは出身や専門が土木工学だけでなく、地球科学、農業科学、電気・電子工学など多分野に渡っています。そのため、水環境・土木環境の未来設計に多面的な見方、新なる科学技術で答えることができ、それを教育・研究プログラムに反映した独自のシステムを展開しています。国際性にも力を入れ、調査・研究対象は、特に、これから発展が期待されるモンスーンアジアの国々にも及んでいます。



水環境・土木工学科 教授
中屋 眞司
Shinji Nakaya



今までにない機械、今までにない夢。

機械システム工学科

- 環境機械プログラム
- 機械物理プログラム
- 精密知能機械プログラム

【卒業後の進路】

自動車、重工業、電機、プラント、精密機械、鉄鋼など、ものづくりに関する全ての分野でエンジニアや研究者として活躍できます。

【取得を目指す免許・資格】

- 中学校教諭一種免許(理科)
- 高校教諭一種免許(理科、工業)
- 学芸員
- 技術士(受験資格:要実務経験)

【学科の先生が語る“何が新しいか”】

基礎をベースに、産業応用に対応

日本はもとより世界の産業における重要な役割を果たしているのが機械工学です。3年生前半まで基本をしっかり学んだ上で、機械工学をベースとした環境機械、機械物理、精密知能機械の3つのプログラムを展開。機械工学の産業応用に広く対応したカリキュラムにより、「新・工学の先駆者」と成り得る人材の育成を目指しています。

【学科の先生が語る“何が面白い”】

他大学とは一味違う研究が展開されている

実験や実習を多く取り入れたアクティブラーニングを実践しています。教育熱心な教員が多く、私自身が学生時代に経験したどの教員よりも懇切丁寧な授業を実施しています。教員の研究課題は非常に幅広く、まだ注目されていない研究課題を独創的に進めている研究や信州ならではの地域貢献に資する研究など、他大学とは一味違った研究が複数展開されています。

機械システム工学科 教授

千田 有一
Yuichi Chida



100年後の視点から建築を生み出す。

建築学科

- 建築学プログラム
- 工芸デザインプログラム

【学科の先生が語る“何が新しいか”】

新しい教育プログラムが加わる

これまでの建築学科にデザインを志向した教育プログラムが加わります。机や椅子など私たちの身のまわりにあるものを、使いやすさ、美しさ、強さ、持続可能性などの視点からデザインすることを学び、建築と組み合わせる当学科なら、皆さんは幅広い視点を培うことができます。

【学科の先生が語る“何が面白い”】

生活の場そのものを学ぶこと

建築の面白さは、私たちの生活の場そのものを学ぶことです。信州大学建築学科では豊かな自然の中で、自然と共生する建築物について学ぶことができます。木材利用や民家の再生など信州の特性を活かした建築や寒冷地の厳しい気候に対応した建築とともに、身のまわりのものづくりを先輩や後輩、そして、教員と密に関わりながら学んでいきます。生活の根本に関わるものを作り上げていく楽しさがここにはあります。

【卒業後の進路】

建築家として活躍する他、施工管理技術者、家具デザイナー、店舗デザイナー、住宅開発などに携わるとともに、公務員として社会インフラを担う道もあります。

【取得を目指す免許・資格】

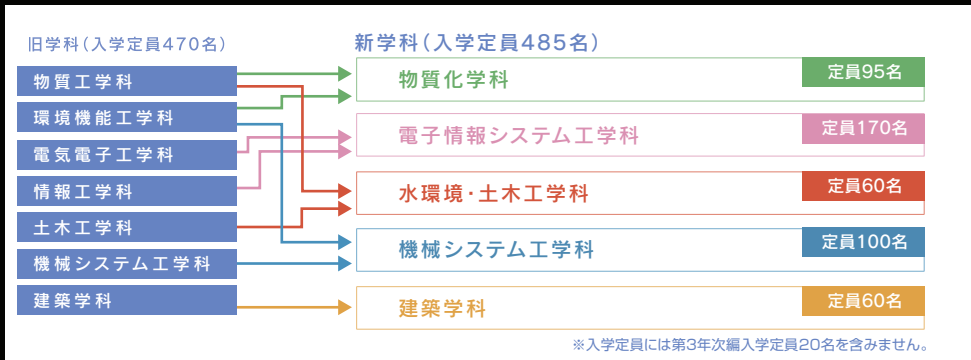
- 高校教諭一種免許(工業)
- 学芸員
- 技術士(受験資格:要実務経験)
- 一級建築士(実務2年以上:受験資格)
- 二級建築士(受験資格)
- 木造建築士(受験資格)

建築学科 教授

高木 直樹
Naoki Takagi



■改組後の学科と既存学科の関係



■入試について(平成28年度入試)

【募集人員】

学科	入学定員	推薦入試I (センター試験を課さない入試)	推薦入試II (センター試験を課す入試)	前期日程	後期日程	帰国子女・ 社会人・ 私費外国人留学生
物質化学科	95	8(1)	12(2)	60	15	若干名
電子情報システム工学科	170	30(6)	20	100	20	若干名
水環境・土木工学科	60	8(1)	7	35	10	若干名
機械システム工学科	100	10(2)	20	60	10	若干名
建築学科	60	1(1)	-	44	15	若干名
合計	485	57(11)	59(2)	299	70	若干名

()内数字…推薦I:高等学校の職業教育を主とする学科対象で内数
推薦II:SSH指定校対象で内数

【選抜方法(推薦入試)】

選抜	教科	科目名等	配点	合計
推薦入試I	書類審査・面接	その他	100	100

選抜	教科	科目名等	配点	合計	
推薦入試II	センター試験	数学	数I・数A 数II・数B、簿、情報、◎工から1	200	600 ※450
		理科	物質化学科、水環境・土木工学科は「物、化、生、地から1」 電子情報システム工学科、機械システム工学科は「物」	200	
		外国語	物質化学科、水環境・土木工学科は「英、独、仏、中、韓から1」 電子情報システム工学科、機械システム工学科は「英」	200※	
	書類審査	その他	「推薦書等」	50	50

◎工:平成28年度のみで旧課程措置

※推IISSHは50点

【選抜方法(前期日程)】

選抜	教科	科目名等	配点	合計	
前期日程	センター試験	国語	国	100	650
		地歴、公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1	50	
		数学	数I・数A 数II・数B、簿、情報、◎工から1	150	
		理科	物、化、生、地から2	150	
		外国語	英、独、仏、中、韓から1	200	
個別学力検査	理科	数学	数I・数II・数III・数A・数B	250	500
		理科	物質化学科は「物基・物、化基・化から1」 電子情報システム工学科、水環境・土木工学科、機械システム工学科、建築学科は「物基・物」	250	

◎工:平成28年度のみで旧課程措置

【選抜方法(後期日程)】

選抜	教科	科目名等	配点	合計	
後期日程	センター試験	国語	国	100	750
		地歴、公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1	50	
		数学	数I・数Aから1 数II・数B、簿、情報、◎工から1	200	
		理科	物質化学科、水環境・土木工学科、機械システム工学科は「物、化、生、地から2」 電子情報システム工学科、建築学科は「物」及び「化、生から1」	200	
		外国語	英、独、仏、中、韓から1	200	
個別学力検査	その他	物質化学科、電子情報システム工学科、機械システム工学科、建築学科は「面接」 ※建築学科は面接の参考にするためのスケッチを含む。 水環境・土木工学科は個別学力検査等は課さない(センター試験成績のみ)	250	250	

◎工:平成28年度のみで旧課程措置

【入試日程(平成28年度入試)】

	出願期間	入試日	合格発表日
前期日程	2016年1月25日(月)～2月3日(水)	2016年2月25日(木)	2016年3月7日(月)
後期日程		2016年3月12日(土)	2016年3月20日(日)
特別選抜	推薦I	2015年11月2日(月)～6日(金)	2015年11月17日(火)
	推薦II	2015年12月14日(月)～18日(金)	試験日の設定なし(センター試験成績+書類審査のみ)※建築学科は募集なし
	帰国子女	2016年1月19日(火)～26日(火)	2016年2月5日(金)
	社会人		
私費外国人留学生		2016年3月7日(月)	



国立 信州大学 工学部

〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1

Tel 026-269-5599 Fax 026-269-5061

URL <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>

